

	No.01	No.02	No.03	No.04
1. 外国人材の受入れ経緯	2019年秋にはじめての技能実習生を受け入れています。	受入開始：2018年	2019年技能実習生の受入を開始、1期生4名 全員モンゴル	2019年 ベトナム技能実習3名 介護福祉士養成校の留学生2名よりスタート
2. 「自社支援」を思い立った経緯	ノウハウを法人内に蓄積。同時に入管の申請等取次研修を受講し、申請等取次者にもなりました	登録支援機関に毎月2～3万円/人発生に疑問。支援内容、提出書類の内容を確認し、委託する必要はないと判断した。	2021年から特定技能の受入を開始 ⇒ 自社支援	コストカットの為。
3. 「自社支援」実施計画の要点	外国人従業員関係業務については、理事長である私も細かく常に把握し、指示がだせるような体制になっています。	特にここまで考えていない。 法人本部の人員が書類を作成し、面談をする程度	在籍する特定技能職員の採用人数の上限は各部署2名まで、法人全体15名～17名まで	自社支援の目標→コストカット 関連法制度への対応☒ 入管ホームページのチェック
4. 「自社支援」実施状況	特定技能外国人ならびに技能実習生は29名（男17名、女12名） 全従業員のうち支援職員は95名	支援実施 特定技能14名	・特定技能 15名 ・技人国 2名 ・身分系在留資格 1名	外国人材人数（在留資格別）→ 在留資格介護6名、特定技能1号22名、留学生4名
5. 「自社支援」実施結果と評価（費用対効果評価）	現在は、自社支援ではありません。登録支援機関と関係性が崩れたり、金額面で折り合いがつかなくなった時には、自社支援でもやっていく自信はあります。	・問題なく実施 ・費用対効果大いにあり ・リファラル採用多数	問題なく実施、 ・住居の確保が課題、	問題なく実施。だが、すべてが初めての出来事。
6. 外国人材雇用における「自社支援」の今後		・自社支援継続 ・人数的にアプリを利用するほどでもない	自社支援を継続する、	費用対効果:1名の担当者が兼務により自社支援を行えるのであればコストカットが行える
7. 自由意見：他法人との経験・知見の共有の仕組みへの期待	外国人材拡大プレイス事務局様の方で、現地ツアーとか企画されてみてはいかがでしょうか。現地の福祉施設見学やボランティアもオプションで。	自社支援を始めるにあたって、とりあえず一回トライし、改善、それでも無理であれば委託を考えるべき	地域交流の機会を増やしていきたい	本質として、直面する課題に対して、どれだけ一緒に乗り越えられるかが外国人の場合、定着やリファラル採用に繋がると考えています。

	No.05	No.06	No.07
1. 外国人材の受入れ経緯	初回2019年9月 第一期受入 技能実習生 ベトナム 女性 3名	仁木町内事業所における求人難が発端であった	2015年 EPA 介護福祉士候補者 フィリピンより2名
2. 「自社支援」を思い立った経緯	019年の初期段階から、日本語教育、生活支援、業務トレーニングには多くの日本人職員で時間を割いて対応しています。	開始年は2025年4月から 「自社支援」は「介護」人材に対してであり、「特定技能」人材は支援機関委託を継続	メリットは、支援費が不要であること。近い関係でいられること。デメリットは、事務処理などの手間がかかる。
3. 「自社支援」実施計画の要点	施設の自前で自社支援する体力が厳しい状況であります。	関連法制度への対応は、「特定技能」の支援機関からもたらされる情報を参考	自社での受入れには人数の制限もある為、他法人へも紹介できる仕組みを作りたい
4. 「自社支援」実施状況	今後は、監理団体等が提供しているアプリなどを外国人自身に使ってもらう。	025年8月現在 「介護」 2名（自社支援）	外国人材人数：介護 1名・特定技能1号 3名・技能実習1号口 3名・特定活動 3名
5. 「自社支援」実施結果と評価（費用対効果評価）	何かと費用が掛かります。それでも3年5年とみると費用には短期的には抑えているかと考えています。	今のところ費用対効果で目立った評価はないが、支援を受ける本人にしてみれば、安心感があり、その分、業務に精励できるのではないだろうか。	実施結果：問題なく実施 困難事例：問題行動の多い方への対応。入国管理局と顧問弁護士に相談。
6. 外国人材雇用における「自社支援」の今後	自社支援とても期待されていますので、応えられるよう個別に対応していきます。	昨今、在留手続はオンラインで行うことが可能であり、すべてを「自社支援」に切替えられる可能性もある。	今後は自社支援から連携推進法人からの受入れを目標としております。
7. 自由意見：他法人との経験・知見の共有の仕組みへの期待	外国人拡大プレイス様のフォーラムではいつも勉強させて頂いております。大変参考になります。		自社支援を行う前から、外国人の方へ関わることによってとても貴重な経験をさせていただきました。